

IFRS 対応の案件が増加 即戦力のエンジニアのみが採用される傾向に

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム業界全般について】

最近、国際財務報告基準（IFRS、通称「国際会計基準」）対応のシステム開発案件が増加しています。現在は主に2010年4月1日以降に始まる事業年度から適用される「セグメント会計」へのシステム対応が上場企業を中心に行われています。今後IFRS対応に伴うシステム開発案件は増加することが予想されます。

しかし新規の開発案件全体は8～9月と比較して10～11月は減少しています。そのためひとつの案件に対して多くの企業が競争に参加しており、以前はコンペ企業がいなくても2～3社の企業間の競争において決まっていたようなシステム開発案件でも、最近では数社～10社程度の企業で競争を行うというケースが多くなったという話を様々なところで聞きます。ある企業では上場のために業務管理システムの導入を現在検討しているが、すでに10社弱のシステム開発企業が手を挙げていると耳にしました。制度改正に伴うシステム開発案件の増加などもみられますが、システムに限らずユーザ企業のコスト意識はより一層高まっているため、システム投資に向けられる目がさらに厳しいものになっていると感じています。

【エンジニアについて】

エンジニアの単価が前年比2割減の傾向は変わらず、プロジェクトマネージャ（PM）やプロジェクトリーダー（PL）の案件が現状ほとんどない状況は先月から続いています。

最近では、エンジニアがこれまで以上に即戦力を求められていると感じています。さらに限られたプロジェクト予算の中で多くのことをこなす必要があるため、各エンジニアの稼働が高い傾向もみられます。高い稼働状況を解消すべくプロジェクトの要員を追加することを検討しても、即戦力のエンジニアが見つからなかったため、現在プロジェクトにいるメンバーで作業を行うことを決定したプロジェクトもあると聞きました。またあるプロジェクトではいったんプロジェクトから離れたエンジニアを再び戻したところもあります。多少スキルの高いエンジニアが新しくプロジェクトに参画するより、すでに当該プロジェクトで実績のあるエンジニアが参画する方が即戦力として業務を行うことができると判断したようです。

株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：戦略的業務管理システム「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：木塚、岡部

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7854 / E-MAIL：info@bbbreak.co.jp